

歴代会長

初代 飛田 啓三郎 昭和39年4月～昭和43年7月
 二代 鶴飼 仙太郎 昭和43年7月～平成16年5月
 三代 松永 ミヨ子 平成16年5月～平成25年5月

四代 矢島 敏正 平成25年5月～平成25年8月
 五代 長谷川 修 平成26年5月～平成27年10月
 六代 佐々木 政則 平成28年5月～現在

平成28年度 町会組織と役員

町 会 長	佐々木 政則 (総務部長兼任)	総務部副部長	斎藤 文江
副 会 長	福田 ラン子 (経理・環境部長兼任)	環境部副部長	鳥 いせ子
副 会 長	宮崎 五十鈴 (厚生部長兼任)	厚生部副部長	魚谷 公子
副 会 長	田口 輝郎		
広 報 部 長	齊藤 文江	文化部副部長	長谷川 カヨ子
文 化 部 長	三塚 和子	婦人部副部長	久保 ヒナ子
青 少 年 部 長	井出 恭子	青少年部副部長	田島 キエ
防 犯 ・ 交 通 部 長	荻原 浩	防犯部副部長	井出 恭子
防 災 部 長	田中 藤一郎	防災部副部長	宮崎 五十鈴
監 事	飛田 定己		
	田熊 實		

町会の由来・歴史

昭和7年10月、中野町(4カ村)と野方町(7カ村)が合併して中野区となる。戦後野方町は昭和27年4月に野方一丁目南自治会(西武線南側全域)として設立され、昭和39年12月に沼袋・野方地区の区域変更と住居表示事業が実施され、野方一丁目南町会が設立現在に至る。

昭和20年の空襲で区の半分が消失するも野方地区は免れた。その結果、大胆な区画整理が出来ず町内は旧来のまま狭い路地や行き止まり道路が数多く残されている。

当地区の南側は明治の後半から陸軍中野学校があり、戦後米軍が進駐占拠していた。米軍退去後、警察学校、警察大学校等施設が平成13年度迄利用されていた。その後解体された跡地に病院、商業ビル、大学、公園が整備され、これにより当地区の住環境は一変した。

町の変貌と現状・特徴

当地区は中野駅に近く、官公庁や大企業の住宅等が点在していた。近来では建物の築年老化と生活スタイルの変化で家族構成も減少し、古くからの居住者も変わり土地の細分化が進んだ。その結果、アパート・マンションも多く建設されるようになり、独身サラリーマンや学生の居住需要も高まり、当町内の単身者が占める割合も高まっている。

町内には特別な史跡はないが、江戸末期の文化3年以前に建立されたとする稲荷神社(妻恋稲荷)が早稲田通り警察病院前にあり、今も旧家の方々が年番交代で管理をされている。

町会活動の特徴及び課題

地域住民の安全安心をスローガンに防災訓練、防犯パトロール、春・秋の交通安全運動を実施。また資源回収事業を通じてリサイクル活動も推進し町内美化にも努めている。本年度には防犯カメラ2台を設置し、より安全・安心な町づくりを目指しています。

地域の人々との幅広い交流(スイカ割大会もちつき大会、ハロウィンパレード等)で新規町会への加入促進を図りつつ、世代交代をいかに進めることが出来るか、高齢化が進む当町会の課題である。